

あらゆる畑作の作業効率化をサポート 野菜作向けハイクリアランス乗用管理機「MV170」登場

三菱マヒンドラ農機株式会社(本社:島根県松江市、CEO取締役社長:末松 正之/スエマツ マサユキ)は、野菜作向けハイクリアランス乗用管理機「MV170(メーカー希望小売価格: ¥ 2,020,000-(税別) 」を2019年3月に発売いたします。



最低地上高	トレッド
420mm	1140mm
	1200mm*
	1430mm

※スパーサ(別売オプション)使用時



「MV170」は、生産コストの低減と軽労化、機械化が進む近年の農業、特に畑作のニーズに応える野菜作向けハイクリアランス(最低地上高420mm)乗用管理機として、低振動・低騒音を実現した排気量952ccで17馬力を発揮する三菱製ハイパワーエンジンを搭載。様々な圃場条件に合わせて、1,140mm、1,200mm、1,430mmとトレッド幅の変更を可能とし、1.2m平うね、2尺3寸うねに対応。さらに、狭い圃場でも繊細な作業をアシストする前進9段/後進3段の多段トランスミッションを採用。耕うんの深さを任意の位置で設定できる深耕自動や作業機の水平(もしくは任意の位置)に保持する水平自動機能も標準装備。

「MV170」は、多彩なトレッド幅の設定や高出力エンジンを採用することで、差別化を図り、活躍のシーンを広げ、様々な野菜作の管理作業の負担を軽減し、視認性の良いメーターパネルや操作系のデザインは作業の安全と効率化をサポートいたします。また、「MV170」には安心の2年間のロングライフ保証が付帯します。

MORE POWER, MORE PERFORMANCE & VALUE !
時代のニーズに応えた低価格大型トラクター「M-Star75」登場

三菱マヒンドラ農機株式会社(本社:島根県松江市、CEO取締役社長:末松 正之/スエマツ マサユキ)は、低価格大型トラクター「**M-Star75**(メーカー希望小売価格: ¥ 5,550,000-(税別))」を2019年1月に発売いたしました。

大規模経営化が進む国内農業市場において近年ニーズの高まりがある基本性能を備え、必要機能を集約させることで価格を抑えた低コスト農業応援大型モデル「**M-Star(エムスター)75**」を、トラクタ販売台数で世界トップを誇るマヒンドラ&マヒンドラ社※より日本初導入。

排気量2,648ccで72馬力を発揮するmCRD(DOC式)のTier4排ガス規制に対応したハイパワークリーンディーゼルエンジンを搭載。排ガス中の煤(スス)を捕集・除去するためのDPFがないため、再生作業のための作業中断ロスもなく、燃焼効率の最適化も実現。スムーズな作業をサポートする**前後進15段トランスミッション(主変速5段/副変速3段)にクラッチレスで前後進切替可能なシャトルレバー**を採用。**最大2,200kgfを誇る油圧揚力とカテゴリー I・II 切替機能付きリンクボール採用**で各種大型作業機に対応。さらに、様々な圃場での管理作業に対応するため**前後輪のトレッド幅を4パターンで調整が可能**です。



※マヒンドラ社の農業機械部門は、2003年にすべての事業領域において、総合的な品質管理体制の構築を称され、製造業のノーベル賞といわれる「デミング・アプリケーション賞(Deming Application Prize)」を、2007年にはトラクタメーカーとして初めて、優れた顧客重視、全体的な品質、ビジネスプロセスを称され「ジャパン・クオリティ・メダル(Japan Quality Medal)」を受賞しました。また、マヒンドラ製トラクターは2010年に世界で1番販売されたトラクターになりました。